

舞鶴の男子中学生軟式野球チーム

「鶴友クラブ」全国大会へ

舞鶴市の男子中学生の軟式野球チーム「鶴友クラブ」が、3月に千葉県で開催される全国中学生軟式野球大会に出場する。選手らは大舞台に向け、「まずは目の前の1勝を勝ち取ろう」と熱心に練習に励んでいる。

3年ぶりの2回目

「まず1勝」練習励む

昨年9、12月に京都市などであった府予選で優勝し、3年ぶり2回目の切符を手に入れた。決勝では、前年の大会で全国優勝したクラブに勝ち、勢いのある京都市内のチームと対戦。3点を先取されたが、バッテリを中心にした堅守や、2死満塁での走者一掃二塁打などで5点を取り返し逆転勝利した。橋本一監督(59)は「飛び抜けた選手はいないが、普段のプレーをゲーム内で着実に発揮できたのが優勝につながった」と振り返る。

チームには現在、城北、和田、白系中の1、2年11人が所属し、1年生メンバーも試合に出場する。筋トレや食事など体づくりを力を入れ、全国の舞台でも萎縮しないようほぼ毎週末、京都市内や大阪府内での試合に出場し、初対戦の相手に対応する技術を身に付けている。

キャプテンの和田中2年松本祐輝さん(14)は「強豪が集まる全国大会だが、最後まであきらめず、声と気合で絶対に負けないようチームをまとめた」と意気込んでいる。

全国大会に向けて意気込む選手たち(舞鶴市上安久)



田辺城の「御城印」販売

戦国武将細川幽斎ゆかりの田辺城の「御城印」が19日から、城跡にある舞鶴公園内の田辺城資料館(舞鶴市南田辺)で販売される。作成した市民有志は「田辺城で歴代城主が受け継いできた歴史がより広く伝われば」と期待を込める。

舞鶴公園内の資料館で19日から



御城印は、寺社の「御朱印」を参考に、和紙に城の名前や城主の家紋などの印を押したもの。幽斎の盟友明智光秀が主人公となるNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送開始に合わせ、田辺城をPRしようと旧田辺藩の藩主や家臣の子孫などでつくる田邊家中之会が企画、作成した。

「歴代城主受け継ぐ歴史」広く伝わる

台湾の首長 与謝野訪問

丹後ちりめん工房視察

産業分野を中心に友好交流を図りたいと、台湾南部の町の首長が15日、与謝野町を訪れた。山添藤真町長(38)と懇談し、ちりめん街道や町営肥料工場、丹後ちりめん工房などを視察して、両自治体の交流を深めた。訪れたのは、屏東県枋寮郷の陳亞麟郷長(33)。首長が同世代で、人口規模が近いことが民

(大西成美)